

令和5年度 仙台市宮城野障害者福祉センター防災訓練を実施しました。

令和5年8月4日

仙台市宮城野障害者福祉センター

令和5年8月4日（金）地震を想定した避難訓練と停電を想定したポータブル発電機の操作訓練を二部に分けて行いました。

第一部では10時30分、宮城県沖で震度5強の地震が発生したことを想定とした避難訓練を行いました。熱中症対策をとりながら、利用者、当センター職員と併せて27名が参加しました。

訓練では、地震発生のアナウンスに対する反応が速やかで、防災訓練参加への認識の高さがうかがえました。各職員が自身の役割を明確に把握し、館内放送をしっかりと聞き落ち着いて避難する姿が見受けられ、混乱することなく避難することができていました。

また、エレベーターが停止したことを想定し、垂直訓練も行いました。今回は、実際に利用者様にも見学していただき、「利用者様が自分事として考えられ、見て頂けたことがとても良かった」との声が多く聞かれました。終了後には、利用者様から「いざという時に自分も持ち上げてもらえるかな」との声があがり、利用者様同士で対策を話し合う姿が見られました。

第二部では、16時から停電時に備えてポータブル発電機の操作訓練を行いました。今回は6月末に実施した操作研修会から間もない為、振り返りとして行いました。操作手順や注意点を職員同士で確認しながら取り組む姿が見られました。

今後も場面や時間帯などを変えながら、またより実践的で多様性のある訓練を実施していきたいと考えています。

